

2026年1月30日発行

新春特大号 第50号

日本と中国 茨城



NPO法人茨城県日中友好協会
 会長 川津 隆
 〒310-0011茨城県水戸市三の丸
 1-1-42駿優教育会館6F
 TEL 029-350-1231
 FAX 029-350-1232
 E-mail:info@jcfa-ibaraki.net

印刷 日立高速印刷株



呉江浩 駐日本中国大使や二所ノ関親方等と一緒に記念撮影 (2025年10月19日 第18回日中友好交流会議 歓迎レセプション)



日中友好の更なる発展を目指して

NPO法人茨城県日中友好協会
名誉会長 大井川 和彦

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、長年にわたり日中友好の活動に格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、4月に中国を訪問し、パンダ誘致活動を通じて交流を積み重ねてきた陝西省との間で「友好県省関係の発展に関する覚書」を締結しました。また、10月には、日立市において日中の民間友好交流プラットフォームである

「第18回日中友好交流会議」が開催されるなど、本県と中国の経済・人的交流に一層の弾みがついたと感じております。

日中関係は依然として様々な懸案や課題を抱えておりますが、皆様の草の根活動を礎とした、官民一体となったパンダ誘致活動に加え、中国からの企業誘致や誘客促進、活発な人材交流に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。

会員の皆様をはじめ関係各位におかれましては、多方面にわたる交流が更に深まりますよう、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。



民間交流と地域連携のさらなる発展に期待して

NPO法人茨城県日中友好協会
会長 川津 隆

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から各地区日中やそれぞれの分野で友好活動にご尽力を賜り、また当協会への運営に御支援、御協力を

(2)
頂いていることに、心から感謝申し上げます。

昨年は、4月に茨城県と陝西省の間で「友好県省関係の発展に関する覚書」の締結がありました。

当協会といたしましても、皆様の御協力の下、パンダアーツコンテストやパンダダンスの普及活動、スピーチコンテスト県内学生を訪中団派遣など各種事業の実施を通じて、今

できる幅広い分野における草の根交流を促進し、更なる友好関係の構築に努めて参りました。

そして、10月には戦後80年(公社)日本中国友好協会の設

立75周年という記念すべき節目の年に「第18回日中友好交流会議」と第3回目を迎える「パンダフェス」を記念事業として開催し、積み上げてきた民間友好交流と地域連携のさらなる発展に期待する1年となりました。

本年は特に厳しい環境ですが民々交流を中心として、日中両国の平和と発展と兵に子々孫々までの友好関係の構築に努めてまいりたいと存じます。

年頭にあたり、会員の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念して新春の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



両国間の懸け橋に

一般社団法人茨城県経営者協会 会長
笹島 律夫

新春を迎え、茨城県日中友好協会の皆様に心よりお慶び申し上げます。

県内経済界においても、日中両国の安定的な交流と相互理解の深化は、地域産業の発展に欠かせない要素となっております。とりわけ人材・技術・文化の往来は、新たな価値創造の源泉であり、企業規模を問わず幅広い産業に活力をもたらしています。

本年も、貴会には両国間の友好促進の架け橋となつて頂きますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



揺るぎない日中友好関係に向けて

連合茨城 会長
久保田 利克夫

明けましておめでとうございます。

皆さまにはお健やかに新年をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、「第18回日中友好交流会議」を茨城で開催するなど、日中間における政治課題がある中において、民間レベルでの両国間に揺るぎない友好関係を築いていこうとす

る活動を積み重ねてこられました。

連合茨城としても、パンダ招聘事業をはじめとする諸活動へ積極的に取り組んでまいります。

日中友好協会が民間外交の役割を果たし、両国の友好関係が益々発展されますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



草の根の交流の積み重ねが、未来への信頼を育む

茨城県農業協同組合中央会 会長
八木岡 努

新年あけましておめでとうございます。

会員皆さま、ならびに日頃より茨城県日中友好協会の活動にご理解とご支援を賜っている関係各位に、心より新年のごあいさつを申し上げます。

このような時代だからこそ、私たちは改めて「相互理解」と「民間交流」の重要性を再認識する必要があると感じております。

日中友好の原点は、政府間の関係だけでなく、人と人との誠実な交流にあります。文化、教育、経済、観光、スポーツなど、草の根の交流を積み重ねることが、相互不信を和らげ、未来への信頼を育む最も確かな道であると確信して

います。

特に今後は、次代を担う若者同士の交流を一層重視していくことが重要です。学生交流やオンラインを活用した対話、地域に根ざした共同活動などを通じて、国境を越えた「顔の見える関係」を築くことが、将来の日中関係の安定と発展につながるものと考えます。

また、農業分野は、食料安全保障、環境保全、持続可能な地域づくりといった共通課題を抱えており、日中双方が知恵と経験を共有できる重要な分野です。茨城県は日本有数の農業県として、高品質な農産物、生産技術、人材育成の面で大きな可能性を有しております。

今後は、農業交流や人材交流を通じて、相互理解を深め、信頼に基づく実践的な協力関係を築いていくことが、地域から日中友好を支える力になるものと確信しております。

結びに、本年が皆さまにとりまして実り多き一年となりますこと、そして日中両国の友好と平和がさらに深まる年となることを祈念し、新年のごあいさつといたします。

昨年を振り返りますと、国際情勢は依然として不透明さを増し、日中関係を取り巻く環境も決して平坦なものではありませんでした。しかしそ

第18回日中友好交流会議 in 茨城

「第18回日中友好交流会議」が10月19日と20日で茨城県日立市内で開催されました。

19日15時「記念事業である『パンダフェス』によるオープニングセレモニーで幕が開き、冒頭（公社）日本中国友好協会宇都宮徳一郎会長の挨拶がありました。来賓には中国駐日大使館張漪波公使参事官や国会議員、県議会議員、市町村長等多くの方々が出席されました。



オープニングセレモニー開幕の様子

同日18時ホテルテラスザスクエア日立で「歓迎レセプション」が開催され、来賓を含む227名が参加されました。



鏡開きの様子

相撲甚句と共に迎えられながら茨城県日中川津隆会長や中国人民対外友好協会袁敏道副会長、県日中名誉会長である大井川和彦茨城知事、呉江浩駐日大使等が登場し、会



張 漪波 公使参事官



挨拶をする宇都宮会長

場は一気に盛り上がりをみせ、鏡開きとふるまい酒ののち乾杯となりました。



ねば〜る君と一緒に餅つきを披露

ねば〜る君達と納豆餅の餅つき、ぱんだーくん、ぱんだーなちゃんと一緒にチアダンスチームDELICIOUS☆が『パンダンス』を明秀日立学園功労学校のダンス部「BBO of Pacific」が『ワンダーパインダーランド』を披露し、会場は華やかな雰囲気の中で懇談の輪が広がり翌日の会議に向けて参加者の絆を深める楽しいひとときとなりました。

20日「地方都市間の新しい交流」をテーマに掲げ、日立ビックセンターで「第18回日中友好交流会議」が開催されました。

全体会議・開会式は主管である川津茨城県協会会長の開会宣言で幕を開け、宇都宮会

長は「多彩な民間交流を推進し、対話を重ねて日中友好の使命を果たす」、袁敏道副会長も「建設的で安定的な関係を築いていく」と挨拶がありました。また、呉江浩駐日大使、外務省から吉田智久美地域調査官、大井川和彦茨城県知事が来賓として参加し、祝辞を述べられました。



全体会議の様子

午後からは、①地方都市間交流、②継承と創新、③青年の活躍、④スポーツ・文化という4つの分科会が開催され、第1分科会「地域間相互連携」では、県上海事務所の鈴木賢嗣所長が茨城県の観光地や食の豊富さ等を紹介し、4月に友好県省関係の発展に関する覚書を締結した茨城県と陝西省が共同で報告を行いました。

最後に「両国、アジア、世界の平和のための協力と信頼関係を官に先立って積み上げる」などとする大会宣言を採択され、第18回日中友好交流会議が閉幕されました。

21日のエクスカーションには30名が参加され、国営ひたち海浜公園、那珂湊「さか天」を観光視察されました。公園では、みはらしの丘一面を真っ赤に染めるコキアの美しい風景をご覧いただき、参加者からは感嘆の声が上がるなど大変好評を博し、那珂湊の「さか天パーク」では、新鮮な海の幸を味わっていたく等茨城県の魅力を存分に感じていただき、参加者同士の交流も一層深まる観光視察となりました。



参加者全員で記念撮影

2025年新春交流会開催

2025年2月25日(火)新春交流会を駿優教育会館にて開催しました。

第一部の講演会では、川津会長、名誉会長大井川知事、在日中国大使館康参事官、西野県議会議長等のあいさつの後、拓殖大学客員教授西川りゆうじん氏が進行役を行い「いばらき《観光交通フォーラム》」と題し、講師には、日本空港ビルデング副社長の鈴木久泰氏とJR東日本企画社長の赤石良治氏を迎え、県営業戦略統括官の橘川栄作氏をコメンテーターに招き、2030年の訪日客6千万人時代に向けて茨城の観光交通の在り方について講演をいただきました。第二部の懇親会では、県市議会議長の大津会長、(公社)日中友好協会の揚原理事長等や県内政財界各界の要人、地区日中協会役員及び会員、在県の華人協会、中国人留学生などが参加し、各界代表者からの新春メッセージののち乾杯になり手作り餃子や、茨城県産の食材を囲みながら、会場は華やかな雰囲気の中で懇談の輪が広がり、有意義な交流会になりました。



康暁雷参事官と記念撮影

2026年新春交流会のご案内

日時:2026年2月25日(水) 11:00~13:10(受付10:30)
会場:駿優教育会館 会費:5,000円
11:00~11:30 ご挨拶
11:30~12:00 基調講演
講師:CUEグループ CEO 施侃氏
講演テーマ:「パンダと国際交流」
12:10~13:10 懇親会《新春昼食会》

2025年度定期総会開催

定期総会が5月14日(水)水戸駿優教育会館で204名(内委任状120名)が出席して開催されました。

総会では冒頭に主催者を代表して川津会長、岩下副知事からの挨拶の後、中国大使館の郭強参事官や西野県議会議長、小川日立市長に、そして(公社)日中友好協会の宇都宮会長からご挨拶をいただきました。



挨拶をする郭強参事官

西野県議会議長、川津会長等一行の陝西省との友好覚え書調印の様子やこれまでの経過を含めて報告がありました。

今年度の事業計画では引き続き、「パンダアートコンテンツ」と「中国語スピーチコンテンツ」と「パンダフェス」の開催に加えて、「パンダコンテスト」を開催する計画と共に各地区日中友好協会との共催活動も承認されました。

2025年度は「役員改選」も行われ、新たに改選された役員を代表して副理事長事務局長に就任した岩田氏から挨拶がありました。

役員名簿(順不同・敬称略)
名誉会長 大井川和彦 会長 川津隆 顧問 森秀男 相談役 小田部卓 副会長 久保田利克・八木岡努・内藤学・沼田安広・袴塚孝雄・宮崎泰司・高橋榮子 副会長 長理事長 五十嵐則夫 副理事長 西野真幸・高濱孝美・寺山正史・高野貴世志

議事に入る前に、五十嵐副会長理事長から、10月に日立市で開催される「第18回日中友好交流会議」について説明がありました。また、小川一成県議から、4月15日からの大井川知事、

- 藤井生美・照沼重輝・熊谷真・林太一 副理事長事務局長 岩田光造 常任理事
- 寺崎久美子・秋山進・石田タキ子・川又保・宮本正枝・渡辺達彦・中川周・小宅清史・玉造順一・今橋孝司・益野博・木本信太郎・白井平八郎・荒川透・潘憲生・鈴木俊一・高崎進・村本修司・飯岡幸一・多々納三男・川津由希子・大津亮一・生田目裕・木下貴文・今井一道・馬興榮・木村憲英・川崎一馬・朱宇坤・鈴木沙羅・高柳拓也・落合恵一
- 理事 飯田正美・広原町子・荒蒔和裕・高建華・茂田絹子・高井英花・梅沢正紀・丸山悟・内山隆正・山名英美・荻直樹・海東英晴・村田豊・川上光彦・黄磊・木村凜子・曹慧・徐涛・岩田由彦 法人理事 (株)秋山工務店・常総開発工業(株)・(株)常陽銀行・(株)カスミ・(株)関電工茨城支店・(株)日立製作所日立事業所・(株)広沢製作所・関彰商事(株)・NECネットスエスアイ(株)茨城営業所・Top Rights JP Consultant (株)・鈴縫工業(株) 監事 内山裕・木名瀬幸吉

中国語スピーチコンテスト 第23回茨城県大会開催

県日中友好協会主催の中国語スピーチコンテストが11月8日(土)駿優教育会館で発表者や関係者ら約70名が参加し開催されました。

当日は28名の発表者が朗読部門、スピーチ部門に分かれ日頃の練習成果を競いあいました。

午前中で発表が終わり、審査委員会(委員長水戸市国際交流協会王偉亜シニアアドバイザー)が別室で慎重に審査した結果別記のとおり入賞者選ばれました。

その後審査委員長から全体の講評があり、引き続き表彰に移り県日中寺山正史副理事長から各入賞者にそれぞれ賞状と賞品が手渡されました。

そして、2026年1月11日(日)東京で開催された第43回全日本中国語スピーチコンテスト(公社)日中友好協会主催)に朗読部門とスピーチ部門の最優秀者から4名が推薦されその結果、スピーチ部門高校生の部の紙田実生子さんが全国大会への出場権を獲得しました。



発表中の様子

受賞者一覧

【朗読部門】	中学生・高校生の部
最優秀賞	吉岡 結南
優秀賞	金子 実礼
優秀賞	新田 珠怜
優秀賞	城 由奈
一般の部	
最優秀賞	木村 朱李
優秀賞	北澤 裕明
優秀賞	藤田 真紀子
【スピーチ部門】	中学生・高校生の部
最優秀賞	紙田 実生子
優秀賞	木村 真維
一般の部	
最優秀賞	横山 智哉
特別賞	神崎 恵梨

日本青少年陝西省・甘肅省訪問

県内高校生5名が参加、多角的な視野と国際感覚を育む



「日本青少年陝西省、甘肅省訪問団」で記念撮影

中華人民共和国駐日本国大使館による青少年の相互理解と友好の促進を目的とした「日本青少年陝西省、甘肅省訪問(10月19日~24日)」事業に神奈川県から6名、群馬県10名、山梨県1名、そして本県の高校生5名の引率を含む26名が参加しました。訪中した県内学生の報告書の一部を抜粋し、紹介します。

現地の方々と交流する中で、文化や言葉が違っていても、相手の思いやりやあたたかさはしっかりと伝わってくることを実感しました。

(阿部 明香里)

中国は長い歴史を大切にしながら、未来に向けて発展を続ける国だと感じました。西安では、古代の遺跡や文化が現代の街並みや生活に自然に溶け込んでおり、敦煌では、厳しい自然環境を活かして最新技術で発展を目指す姿を目の当たりにしました。

(玉本 大悟)

私はこの訪問を通して、多くのことを学び、貴重な経験をすることができました。全体を通して特に感じたのは、中国が非常に歴史と文化の深い国であるということです。西安にも敦煌にも多くの歴史的建造物があり、私もいくつかを実際に訪れることができました。西安の兵馬俑や敦煌の莫高窟は、歴史の教科書にも載っているほど有名な遺跡であり、授業で学んだ内容を自分の目で見ることで、理解がより深まったように感じました。

(金子 実礼)



敦煌でらくだ乗り体験

主な行程表

- 19日(日) 西安到着
- 20日(月) 西安外国語大学生と青少年交流
- 農村振興視察
- 21日(火) 現代農業・歴史文化視察
- 22日(水) 陝西汽車集団 新エネルギー自動車 フレーム工場
- 西安―敦煌移動
- 敦煌到着
- 23日(木) 敦煌文化研修
- 24日(金) 敦煌―北京―東京

訪中団員名簿

(東洋大学附属牛久中学校・高等学校)	
鈴木伸一 教頭先生	
阿部 明香里	2年
金子 実礼	2年
加茂 紗希	2年
中島 侑子	2年
玉本 大悟	1年



地区協会・委員会だより



各地区協会の連絡先

水戸市 日中友好協会

中国語講座受講生随時募集中
事務局次長 袴塚 孝太

水戸市日中友好協会の中国語講座は、水戸市国際交流センターで月2回土曜日開催されています。講座は「初級」と「上級」クラスがあり、講師は中国福建省出身の高先生です。教科書を展開して学習をしております。受講生を募集しています。

また、毎年茶話会や餃子パーティを開催し、中国文化に触れる機会も作っております。ぜひ、中国語や中国文化に興味のある方お待ちしております。



餃子パーティーの様子

稲敷市 日中友好協会

友好活動の取り組み紹介

事務局長

寺崎久美子

5月29日総会では、県庁ツアー（議会も含む）とバラが綺麗な水戸市立植物園、県立歴史館の視察も行いました。

7月26日筑波大中国人留学生交流会を開催しました。巻き寿司（祭り寿司）や皮からつくった手作り餃子、稲敷かるた遊び、江戸崎祇園祭見学等で交流を深めました。

11月1日～3日稲敷市文化祭にてパンダアートコンテスト入賞作品の展示を行いました。

2月にはパンダアートコンテスト市日中特別賞40点を選出し、市役所一階ロビーにて展示を行います。



神栖市 日中友好協会

**戦後世代の語り部講演会及び
会員親睦ゴルフコンペ開催**
事務局次長 人見 憲司

戦後80年を迎え年間事業計画に基づく講演会を計画し、11月「中国帰国者支援センター戦後世代による語り部講演会（演題）残留孤児として中国社会を生き抜く」を開催しました。おおよそ30名ほどの会員、市民の参加をいただきました。（写真①）。

また、11月、第20回記念会員親睦ゴルフコンペを開催、天候も良く皆さん満足するスコアが出た模様です（写真②）。



写真②



写真①

日立市 日中友好協会

パンダを通じた街おこしに活躍

事務局長 矢吹 貴志

5月市内小中学校へ市教育委員会を通して画用紙5000枚、市内高等学校8校に各100枚の画用紙を配布して、パンダアートコンテストの機運醸成を行いました。

10月17日～23日パンダアートコンテスト市内応募作品801点を展示し、毎年向上する力作を市民の皆様へお披露目しました。パンダフェスにて「パンダぬいぐるみ」のお店を出店し大盛況でした。

両日のダンスコンテストの賞状作成などを通して運営全般に協力、また19日～21日に開催された日中友好交流会議では会員の会議参加希望者の登録料の半額支援や当日の運営手伝いなどにも取り組みました。

10月30日～11月1日ひたち国際文化まつりではギャラリーにパンダアートコンテスト全国受賞者の作品を展示し、パンダぬいぐるみのお店を出店しました。



ひたち国際文化まつり出店の様子

取手市 日中友好協会

様々な活動で会員同士の親睦を深める

事務局長 多々納 三男

6月1日 江戸川大学名誉教授近藤益世さんによる「シェイクスピアの魅力」の講演会を行い27人が参加しました。卓越した人間観察からなる人の内面描写や言語が魅力で、喜劇と悲劇でのシェイクスピアの名台詞の説明。シェイクスピアの作品がどのように日本社会に親しまれてきて、日本文化の一要素になったかが分かりました。

10月4日 中秋節を手作りの月餅を作って祝う交流会を行いました。蘇州式の小豆餡と豚挽肉餡の2種類の月餅作で楽しみました。会員の中国出身者の方々が中心となって月餅作りの企画から準備、会場の飾り付けなどを担当していただき、希望者には月餅を作る作業を体験してもらい好評でした。交流会の余興ではクイズに挑戦したり合唱や、漢詩朗読などを楽しみ大盛況のイベントとなりました。

11月15日から20日にかけて、5泊6日の「貴州・少数民族を訪ねる旅」を実施しました。会員12名が参加しての大変思い出に残る研修旅行となりました。今回の旅行を通じて感じたことは、中央からかなり離れた貴州でも高速道路、新幹線等の交通網が発達し、それに観光地でのIT化が進んでいる事です。観光地の入場口に顔認証システムが整備されており顔認証でゲートが開くようになっていたのには驚かされました。地方においても着実に近代化が進んでいました。



研修旅行参加者で記念撮影

那珂市 日中友好協会

総会開催 会員との懇親深める

7月26日ふれあいセンター横堀にて参加者6名で総会を実施いたしました。総会終了後、寺山会長が参加された皆さまに手打ちそばを振る舞い懇親を深めました。



常陸太田市 日中友好協会

9月30日に中原一博前会長が亡くなられました。76歳。葬儀は10月3日に行われました。ご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。



お知らせ

地区協会会長就任

- 取手市日中友好協会
熊谷 真 新会長
- 常陸太田市日中友好協会
石橋 誠 新会長
- 結城市日中友好協会
白井 平八郎 新会長

小美玉市 日中友好協会

ぱんだーるくとぱんだーるくがやってきました！ 国際交流ひろば！

監事 加藤 恵子

11月8日、「みのーれ」において国際交流ひろばが開催されました。ぱんだーるくとぱんだーるくが来場し、会場は大きな歓声と笑顔にあふれました。

「パンドンズ」をみんなで元気いっぱいに踊り、子どもから大人まで大盛り上がり。会場全体が一体となる楽しい時間となりました。

ぱんだーるくとぱんだーるくがつかくる温かな雰囲気の中、国際交流の魅力を感じられる、市政20周年にふさわしい思い出深いイベントとなりました。



KANKANってなに？

「KANKAN」は中国の国営放送局である中央広播電視总台（チャイナ・メディア・グループ）（CMG）の公式アプリです。日本語による中国のニュースや生活情報、中国語学習コンテンツ、オンライン翻訳機能などすべて無料で楽しめます。さらに国内外のパンダニュースやライブ配信が楽しめるスペシャルパンダチャンネルも開設しており、パンダ好き垂涎のコンテンツも満載です。

“中国通”を目指して今すぐダウンロード！



Google Play
で手に入れよう



App Store
からダウンロード

女性委員会

これからもずっと日中友好を：

委員長 高橋 榮子

6月1日に女性委員会総会を開催し、来賓として川津会長をお招きした時に、会長よりのお声かけにより「日中不再戦之碑保存顕彰会」の総会にオブザーバーとして7名で参加しました。総会后、千波湖畔に建立されている「日中不再戦之碑」を参拝した時には気持ちが引き締まりました。

10月のパンダフェスでは「マルシェばんだーなちやん」を開店し、お米を始め野菜、いちご苗、花鉢、米袋で作った大型バッグ、ピンバッチ等で売り上げも上々でした。引き続き、日中友好交流会議の歓迎レセプションがあり、相撲甚句を先頭に来賓の方々が入場され、日中友好交流会議の開会となりました。中国から日本各地から参加された皆様の御協力により実のある会議になったと思います。

令和8年2月には春節交流会を予定しています。参加された皆様に喜んでもらえるような楽しい交流会にしたいと思っています。



パンダフェスでの出店の様子

青年委員会

青年委員長就任あいさつ

委員長 高柳 拓也

この度、青年委員長を拝命いたしました、高柳拓也と申します。

学生時代より北京などでのTEENS ROCKや、震災復興をアピールする意味合いもあったらきフェスティバルなどのイベントを通じ、日中の若者が国境を越えて一つになる瞬間に裏方として立ち会ってきました。歴代で最も若い就任となりますが、現場で培った経験と情熱は誰にも負けません。情勢が難しい今だからこそ、理屈ではない「草の根の相互理解」が世界平和の礎になると信じています。次世代が手を取り合える交流を、力強く推進してまいります。



上海事務所

茨城県上海事務所長

鈴木 賢嗣

あけましておめでとうございます。

2025年は茨城県の鹿島アントラーズそして水戸ホーリーホックが、それぞれJ1、J2優勝という茨城県には大変うれしいニュースがございました。

一方、中国では「蘇超」という江蘇省内の都市間のアマチュアサッカーリーグが、南京、蘇州、無錫などの地域愛を刺激し、数万人規模の観客がスタジアムに詰めかけ、地域活性化モデルとして注目されました。

どちらにも共通するのは「地域愛」。来年の茨城ダービー、蘇超が地域活性化の視点からも楽しみです。

日中不再戦之碑保存顕彰会

この会は、日中不再戦之碑に込められた真の平和の願いを未永く伝承していくことを誓う同志によって結成され、古くは第二代水戸藩

主徳川光圀公が中国明時代の儒学者「朱舜水」や学僧「東臯心越」を招聘して交流を深めた悠久の心に思いを馳せ、その足跡を訪ねるとともに、日本と中国の平和と友好推進について学習活動等を進めております。

「今が大事な平和運動」

日中不再戦之碑保存顕彰会の平和運動に参加をお待ちしています



お問い合わせ先



日中不再戦之碑保存顕彰会HP



いばらき パンダ誘致 推進協議会

事務局長
茨城県営業戦略部観光戦略課長

中島 君江

当協議会は、日立市かみね動物園へのパンダ誘致を推進するため、令和元年6月に設立いたしました。

昨年4月には、当協議会の会長である大井川知事が中国陝西省を訪問し、秦嶺四宝科学公園のパンダ飼育施設の視察を行ったほか、陝西省との「友好県省関係の発展に関する覚書」を締結したところです。
パンダ誘致は、地域振興の起爆剤となるばかりでなく、茨城県と中国との交流促進に大きく寄与するものと考えており、引き続き、関係者の皆様と一丸となって、実現に向けた取り組みを推進してまいります。



パンダ施設（秦嶺四宝科学公園）視察の様子

日立市 ジャイアントパンダ 誘致推進会

事務局長
日立市産業経済部 観光振興課長

東谷 保

令和2年度に設立した当組織は、本市かみね動物園へのジャイアントパンダ誘致の実現に向けて、全市的な機運醸成や誘致活動への理解促進、地域の活性化を図ることを目的とし、市内の様々な分野の、企業や団体等に参画いただいています。

今年度の主な取組としては、貴協会主催の「第6回パンダアートコンテスト」に、本市から応募された作品の展示会を開催したほか、県協議会と連携して国内の動物園の視察等を実施してまいりました。

ジャイアントパンダの誘致は、希少動物の保全への貢献や地域の活性化など、多面的な効果が期待できることから、引き続き、貴協会をはじめ、県や関係団体と連携・協力し、実現に向けての取組を進めてまいります。



第6回パンダアートコンテスト市内作品展示会

茨城空港 だより

茨城県営業戦略部空港対策課長

峯 英統

昨年7月28日、茨城空港では、春秋航空の上海便が就航15周年を迎えました。

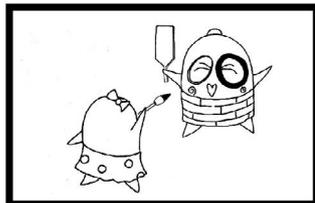
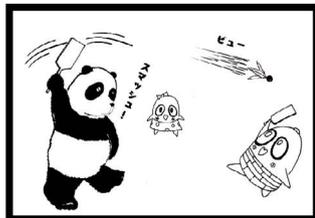
これを記念して、茨城県では、翌29日の便の到着客お出迎え、出発客お見送りを実施し、ノベルティ等を配布するとともに、8月末までの約1か月間、空港2階に周年展示スペースを設置しました。

展示スペースに置いた中国の観光ガイドブックは、多くの来場者にお持ち帰りいただき、中国観光への関心の高さがうかがえました。

上海便は残念ながら3月28日まで連休中ですが、早期の運航再開に向けて、引き続き取り組んでまいります。



羽 根 つ き 作・絵/OYAKE



2026年度事業計画 (予定含む)

- 定期総会 (4月)
- パンダアートコンテスト募集 (6月～)
- パンダフェス2026 (10月17日、18日)
- ワンダーパンダーランドダンスバトル (10月17日)
- パンダダンスコンテスト (10月18日)
- 中国語スピーチコンテスト (11月)

第4回



2026年10月17日(土) 18日(日)
日立シビックセンター新都市広場にて
開催決定!!



第3回パンダフェス開催

10月18日(土)〜19日(日)の2日間で2万人来場

今年度で3度目となる、日

立シビックセンター新都市広
場で2日間開催されましたパ
ンダフェス〜PEACE AND
DIVERSITY〜、ならびに第
18回日中友好交流会議記念事
業が、おかげさまで事故なく
無事に多くの方々にお楽しみ
いただけるイベントとして終
えることができました。



挨拶をする森田実行委員長

本イベントは日立市の更な
る地域活性化や地域振興を目
的として、官民各団体、高校
生、大学生の連携により開催
致しました。

本イベントを開催するにあ
たって、水城高校の学生7名
明秀学園日立高校の学生33名
の計40名のご協力により実行
委員会を組織し、当日に向け
た広報活動や運営等を行いま

した。

昨年同様、2日間という短
い期間での開催となりました
が、昨年を超える約2万人の
方々にご来場いただき、パン
ダンスコンテストやワンダー
ランダーランド・ダンスバト
ル、パンダアートコンテスト
をはじめとして、遠方よりお
越しいただいたお店等によっ
て、イベントは大変な賑わい
となりました。



会場で展示された巨大なジャイアントパンダのモニュメント

今回、私は実行委員長を務
めさせていただきました。国

際的な交流イベントというこ
ともあり初めての経験で不慣
れなことばかりでしたが、皆
様の間断ないサポートもあり
最後まで何事もなく本イベン
トを全うすることができまし
た。



オープニングセレモニーでパングラスを披露

そして、本イベントから貴
重な経験を通して、私自身が
成長することができたことを
とても光栄に思います。

最後になりますが、日立市
とパンダフェスの更なる発展
を願って、略儀ながら、報告
書にて挨拶とさせていただきます。

水城高等学校1年
パンダフェス2025 PEACE
AND DIVERSITY
実行委員長 森田 玲衣

第4回『パングラス』コンテスト

第4回パングラスコンテス
トが10月19日(日)にパンダ
フェス(会場:日立シビック
センター新都市広場特設ステ
ージ)にて開催されました。

幼児から大人まで年齢を超
えた10チームが手作りの衣装
やパンダの耳を模した髪型等
で出場し、それぞれアレンジ
を加えた楽しいステージでか
わいらしいダンスが披露され
ました。

表彰式では出場チームそれ
ぞれが表彰され、各チームか
ら個人賞も選ばれました。
受賞結果は次の通り。

- グランプリ
- 10's sung
- 準グランプリ
- ヨガ・ZUMBAスタジオ正
- 3位
- Black BAMBOO
- 入賞
- HAPPY HAPPY
- Happy☆nagisa stars
- KNR-HIHA
- ばんだーるべん賞
- Pinky Friday
- ばんだーなちゃん賞
- パンダ招へいを応援する会
- ねばる君賞

北茨城市立関本保育所
○納豆お兄さん賞
放課後児童クラブ Kusukusu



パングラスを披露する出場チーム

第1回『ワンダーパンダーランド』ダンスバトル

ダンス界のレジェンドSAM氏が世界トップレベルの振り付けを施した『ワンダーパンダーランド』のダンスコンテストが10月18日(土)にパンダフェス(会場:日立シビックセンター・新都市広場特設ステージ)にて開催されました。審査委員長にSAM氏を迎え、ダンサーチーム10組がそれぞれの自由曲で、課題曲『ワンダーパンダーランド』の2曲のダンスで競い合いました。

グランプリには賞金20万円と賞状がSAM氏から手渡され、最後に出場者全員で記念撮影と『ワンダーパンダーランド』を踊り閉幕となりました。

受賞結果は次の通り。○グランプリ 踊狂
○準グランプリ Cheer Boo ○3位 K2N R-HIHA



SAM氏と出場者全員で記念

第6回『パンダアート』コンテスト

ジャイアントパンダとぼんだーるくん・ぼんだーなちゃんをテーマとした「第6回パンダアートコンテスト」を開催し、8月30日(土)水戸駿優教育会館にて、表彰式が行われました。

皆さまのご協力で応募者総数13338名、県内外から多くの方が参加され、パンダアートの文化芸術を通して友好活動を行うことが出来ました。

会場には、日展審査員の諸先生方の厳正な審査により選ばれた絵画部門と四コマ漫画部門でそれぞれの賞に輝いた受賞者が出席し、200余名の関係者が集い開催されました。



表彰状授与の様子

第6回
パンダアートコンテスト
最優秀賞受賞作品



第6回
パンダアートコンテスト
受賞結果については
こちらのQRコードから
ご覧いただけます

小学生低学年の部



西川 怜
(大分大学教育学部付属小学校)

小学生高学年の部



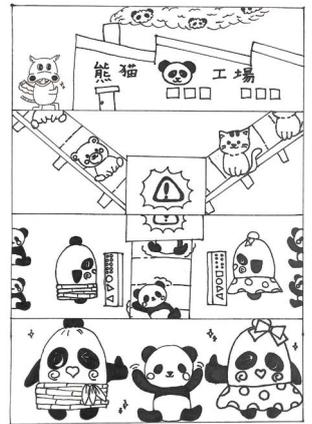
縄 乃々香
(札幌市立資生館小学校)

中学生の部



根本 さくら
(日立第一高等学校付属中学校)

高校生の部



野上 渚咲
(日立第二高等学校)

中学生の部



伊藤 未桜
(大久保中学校)

高校生の部



江川 里緒
(取手松陽高等学校)

一般の部

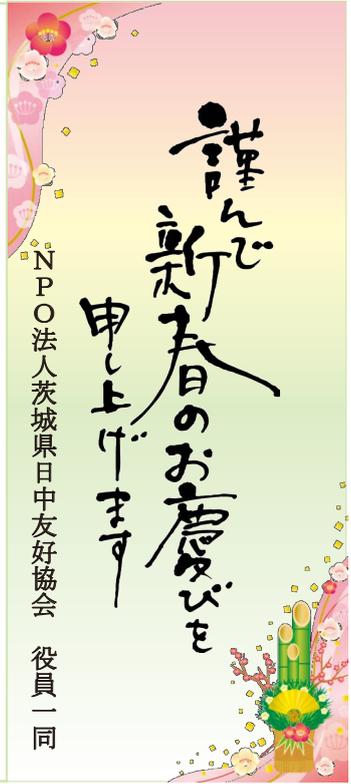


木村 千春
(稲敷市)

一般の部

沢田佳伸
(三重県津市)





川津	川崎	川上	川東	海宅	小落	小合	荻田	大津	大井	梅沢	内山	内山	白井	岩田	岩田	今橋	石田	五十嵐	飯岡	荒蒔	荒川	秋山	
由希	一隆	光馬	英彦	清晴	恵史	部卓	直樹	亮一	和彦	正紀	隆裕	平正	八郎	由彦	光造	孝司	夕子	則夫	幸一	和裕	進透		
寺崎	玉造	多々	高柳	高濱	高野	高崎	高井	曹木	鈴木	鈴木	徐木	朱木	黄木	高木	熊谷	久保	木田	木村	木村	木下	木名	川又	
久美	順一	三男	拓也	孝美	榮子	貴世	英進	俊花	沙慧	宇羅	建濤	建華	建真	信利	信克	信郎	信子	信英	信文	信吉	信保		
渡辺	山名	八木	森本	村田	村田	宮崎	宮崎	丸山	益野	馬井	藤原	広原	潘塚	林塚	袴田	沼田	西野	生田	中川	内藤	照沼	寺山	
(五十音順)	達彦	芙美	秀男	修司	正豊	泰枝	泰司	興悟	生博	町栄	憲美	太一	孝生	安雄	真幸	真裕	真裕	真裕	真裕	真裕	真裕	真裕	

協賛企業・団体

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 株式会社秋山工務店 | 株式会社秋山工務店(水戸) |
| 有限会社アドバンスメント | イガラシ綜業株式会社 |
| 茨城県農業協同組合中央会 | 株式会社サイバーテック |
| 昭和建設株式会社 | 鈴縫工業株式会社 |
| 関彰商事株式会社 | 中央労働金庫茨城県本部 |
| Top Rights JP Consultant株式会社 | 日立高速印刷株式会社 |
| 日本労働組合総連合会茨城県連合会 | ひろうら |
| 水戸ヤクルト販売株式会社 | 株式会社山森 |
| 学校法人あさひ学園認定こども園あさひ幼稚園 | (順不同) |

編集後記

★昨年10月19日・20日、日立市で開催した第18回日中友好交流会議は、大盛況と絶大な好評を得、成功裡に閉幕しました。友好交流会議の記念事業としてのパンダフェスは、3回目を迎え一層充実して来ましたが、取り分け実行委員会として務めた学生諸氏の活躍が注目されます。第4回の開催が10月17日・18日、日立市に決定しました。

★地区協会の投稿が増えました。地域の事情等で活動の濃淡は当然ですが、参加意思の表明は大いに歓迎されるものです。今後の更なる拡大が期待されます。

★4コマ漫画の登場は、紙面に花を添えています。

(常任理事 益野 博)

当協会では常時皆様のご入会をご歓迎申し上げます。ご希望の方は事務局までご一報ください。

入会ご案内ページ